

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●高田潤騎手がJRA障害通算勝利数単独9位の151勝を達成

2月15日(土)の1回小倉7日・第8レースとして行われた小倉ジャンプS(J・GⅢ)ではスマイルスルーが1着となり、同馬に騎乗した高田潤騎手(栗東・フリー)は、JRA障害通算151勝(障害887戦目)を達成しました。これは松田博資元騎手の150勝を抜き、JRA史上単独第9位の記録となります。

●秋山稔樹騎手がJRA通算100勝を達成

2月15日(土)の1回小倉7日・第12レースではグランドセントラルが1着となり、同馬に騎乗した秋山稔樹騎手(栗東・フリー)は、現役86人目となるJRA通算100勝(2223戦目)を達成しました。

●3名の騎手が節目の騎乗回数を達成

2月16日(日)の1回東京6日・第1レースでジルクンに騎乗した内田博幸騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上20人目・現役11人目となるJRA通算1万4000回騎乗を達成しました。さらに第9レース・雲雀Sでインスタキングに騎乗した北村宏司騎手(美浦・フリー)は、史上13人目・現役8人目となるJRA通算1万7000回騎乗を達成。また同日の1回小倉8日・第10レースとして行われた伊万里特別でパルプフィクションに騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)は、史上39人目・現役22人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

●宮本博調教師がJRA通算400勝を達成

2月16日(日)の1回京都6日・第3レースではニシノジェダイが1着となり、同馬を管理する宮本博調教師(栗東)は、現役41人目となるJRA通算400勝(延べ5258頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●無敗馬ジャナドリアが雲取賞(大井)で人気に応じて完勝

雲取賞(JpnⅢ、3歳、2月19日、大井、1800m)は、出遅れから5番手に取り付いたジャナドリア(クリストフ・フルメール騎手、牡、父ゴールドドリーム)が残り200mで差し切り、単勝1.6倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を3に伸ばしました。2番人気のグランジョルノが1馬身3/4差の2着に入り、逃げた3番人気のスマイルマンボ(大井)が3着に粘って地方最先着。初ダートのタイセイカレントは8着に敗れています。

●国内最多勝的場文男騎手(大井)が3月31日付で引退

地方競馬通算7424勝(他にJRAで4勝、韓国で1勝)の国内最多勝記録を保持する大井の的場文男騎手(68歳)は、騎手免許を更新せず、3月31日付で引退することになりました。昨年7月8日の大井競馬第3競走3着が、結果的に最後の騎乗となっています。

●2月24日のかきつばた記念で連覇を狙うサンライズホーク

かきつばた記念(JpnⅢ、2月24日、名古屋、1500m)は、昨年の覇者サンライズホークが最有力、以下ロードフォンス、59^{kg}のシャマル、エートラックス、ペイシャエス、サントノーレ(大井)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ブラックキャビアライトニングS〜スカイバードがG1初制覇

現地2月15日にオーストラリア・ヴィクトリア州のプレミントン競馬場で行われたG1ブラックキャビアライトニングS(2歳上、芝1000m)は、スカイバード(牝4歳、父エクソソフィア、M.フリードマン厩舎)がJ.アレン騎手を背に10頭立ての最後方から突き抜けて1馬身差で優勝しました。スカイバードはデビューから3連勝で一昨年10月のG2ムーニーヴァレーフィリーズクラシック(芝1600m)を制覇。その後、昨年4月にはG2トービンブロンズS(芝1200m)も制しましたが、以降は昨年11月の前走ゴールドデンイーグル10着まで5連敗となっていました。

●G3アミールトロフィー〜レベルスロマンスが連覇

カタールのG3アミールトロフィー(4歳上)はアルライヤン競馬場の芝コースの状態が悪いことから予定より1日遅れの2月16日にアルウクダ競馬場に舞台を移動して行われました(距離も芝2400mから芝2300mに変更)。優勝したのは2度のブリーダーズCターフ制覇を含むG1・7勝馬で、W.ビュイック騎手を背に逃げたレベルスロマンス(騾7歳、父ドバウイ、UAE・C.アップルビー厩舎)。昨年に続く連覇としました。日本から参戦したサトノグランツは中団から差し脚を伸ばしましたが昨年と同じ3着でした。なお、この4レース前に行われたドゥハンスプリント(3歳上、芝1200m)に出走した日本調教馬エコロジーは最下位9着でした。